

仕 様 書

1 入札番号 総病管第 62-17 号

2 器械の名称及び数量 手術映像記録配信システム 1 式

3 機器の構成

1. 機器の構成（1 式の構成）

1-1	手術映像システム	1 式
1-2	周辺機器	1 式
1-3	取扱説明書	1 式

2. 構成品の仕様

2-1 手術映像システムの基本要件

- 2-1-1 「術場カメラ映像」、「術野カメラ映像」及び「生体モニター、医療機器、電子カルテ端末等の映像」を各手術室に配置した映像コントロールシステムに取り込み、手術室内の天吊・壁掛のモニターに選択した映像の表示が可能であり、エンコーダーから院内ネットワークを通じ、サーバー室に配置する術野映像サーバ及び術場カメラサーバにて一定期間の保存と保存期間終了後の自動消去が可能であり、専用端末にてリアルタイム(2～3 秒程度以内の遅れは可)の映像をマルチ及び単体で参照できるシステムであること
- 2-1-2 エンコーダー及び術場カメラ映像を記録するサーバに記録した映像は、2-10-3 に指定する期間保存し、権限を持ったスタッフ (ID、パスワード管理) が操作することで、編集 PC (専用端末) にて、術中映像の参照・編集・映像取出しを行う事ができるシステムであること
- 2-1-3 院内の電子カルテ端末からも映像 (単体) の参照でき、最大 30 台同時に視聴可能であること
- 2-1-4 術野映像とは、HD 術野カメラ・内視鏡・顕微鏡等の医療機器より出力される映像とする
- 2-1-5 手術映像記録・配信システムは手術室 1～22 室にて設置すること
- 2-1-6 モニター、術野カメラ、コントロールシステムの数量は詳細は別紙 1 『手術映像システム配置表』を参照すること
- 2-1-7 内視鏡手術専用統合システムは手術室 18～22 室にて設置すること

2-2 術野カメラシステムは以下の要件を満たすこと

- 2-2-1 術野カメラシステムは、ハイビジョンカラーカメラ (電動ズームレンズ内蔵)、3 軸旋回装置で構成されていること
- 2-2-2 有効画素数 200 万画素以上であること
- 2-2-3 カメラヘッドは小型軽量であること
- 2-2-4 映像信号は HD-SDI 信号が出力できること
- 2-2-5 ズームレンズのズーム比は光学 12 倍以上の性能を備えること
- 2-2-6 無影灯の明るさにあわせて ND フィルターを取り付けること
- 2-2-7 最適な画角を確保する為のクロズアップレンズを装備すること
- 2-2-8 ND フィルター及びクロズアップレンズには落下防止の対策を施すこと
- 2-2-9 映像ケーブルや制御ケーブル等は当院が調達する無影灯アーム内に通線を行うこと
- 2-2-10 回転方向は水平 90° (±45°)、垂直 90° (±45°) 以上を電動で動作できること
- 2-2-11 ホームポジション機能を有し、初期設定位置にリタッチで戻ることができること
これにより、毎回の手術時にカメラ位置を見失うことなく操作が行えること
- 2-2-12 電動でローテイト (360 度) 機能を有し、ローテイト時に速度の可変 (スピードのアップ/ダウン) 機能を有す

- ること
- 2-2-13 水平垂直方向の移動はジョイスティックバーで操作ができること
- 2-2-14 ロータ機構の中で水平及び垂直の機構を持つことにより、ロータ回転角度を意識せず上下左右の方向にカメラの向きを変えることが可能なこと
すなわち、カメラの向きにかかわらず、モニター画面上でジョイスティックバーを倒した方向に画像が移動すること
- 2-2-15 3軸旋回装置は、カメラ位置変更等によって、無影灯照明やアーム取付液晶モニターとの接触に対応した、シリコンゴムカバーで保護されていること
- 2-2-16 3軸旋回装置の本体重量は3.1kg以下であること
- 2-2-17 当院が調達する無影灯アームに取付できるように、必要時に取付部材を準備すること

- 2-3 映像コントロールシステムは以下の要件を満たすこと
- 2-3-1 デジタルスイッチャーの入出力信号をタッチパネルで切り替える機能を有すること
- 2-3-2 デジタルスイッチャーの入出力数は別添付配置表を参照すること
- 2-3-3 モタリィ機器用映像入力端子はDVI・SDIの端子を備えること入力端子の設置数は別添付配置表を参照すること
- 2-3-4 システム操作用に17インチ以上のタッチパネルモニターとコントローラを設置すること
- 2-3-5 当院の院内情報システムより患者情報を受信する機能を有し、患者情報・執刀医・診療科・症例等の情報を自動で取得し画面に表示すること
- 2-3-6 手術室7～22は壁面ディスプレイ及び天吊りディスプレイに選択した画像及び2つの画像を合成したPicture in Pictureの出力を可能とし、またその映像を映像記録システムに送信が可能であること（合成後の画像を院内ネットワークで送受信する際、通信量は、最大6Mbpsを越えないこと）
- 2-3-7 手術室3、6、8、12、15、21は術場カメラ映像をデジタルスイッチャーに取り込み、動画サーバーに保存すること
- 2-3-8 コントロールシステムは一括電源管理が可能であり、予期せぬ電源遮断でも異常終了しない仕組みであること
- 2-3-9 コントロールシステム及びAVラックに収納する機器は、当院が用意する奥行450mmのAVラックに出っ張ることなく設置できること

- 2-4 エンコーダーは以下の要件を満たすこと
- 2-4-1 各手術室の映像コントロールシステムから取り込まれた動画を術野系映像HD専用端末配信用（フルHD画質）」と「長期間保存・低画質配信用（スタンダード画質）」、の術野映像データをH.264フォーマットで圧縮（エンコード）の上、院内ネットワークを通じ、術野画像記録サーバに送信できること。
- 2-4-2 手術室4のエンコーダーは、1チャンネルのライブ配信と記録、それ以外の手術室の手術映像装置は、1台の装置で同時に2チャンネルのライブ配信と記録が可能であること
- 2-4-3 エンコーダーの配信チャンネル数は機器の増設により追加が可能であること
- 2-4-4 エンコーダーもしくは術野映像サーバーにて手術映像の高画質記録と低画質映像への圧縮変換が可能であること
- 2-4-5 エンコーダーの設定はメンテナンスを考慮し、PC端末よりWEBブラウザにて実施できる機能を有すること
- 2-4-6 映像の圧縮のビットレートは画質選択が可能であること
ただし、1チャンネル最大で6Mbps以下に制限できること。
- 2-4-7 手術映像データの改竄防止を目的に、録画に文字情報（手術室番号・時間）を入れるOSD機能を内蔵していること
- 2-4-8 録画中に意図しない電源遮断の発生を考慮し、録画中に録画停止操作を行わない状態で電源が切れた場合でも、寸前までのデータが安全に残される機能を有すること
- 2-4-9 手術映像はリアルタイム（2～3秒程度以内の遅れは可）にサーバーに映像データを送信する機能を有

- し、手術終了と同時にサーバーへのデータ保存が完了すること
 - 2-4-10 配信中及び配信中の映像をエンコーダーのモニターで確認できること
 - 2-4-11 専用ハードウェアであり、電源の ON/OFF 操作だけで利用でき、シャットダウン操作は不要であること
 - 2-4-12 モニター装置の接点信号と連動して録画の開始・停止の制御ができることまた、1 検査毎に映像を集約し、1 ファイルとして保存する機能を有すること
 - 2-4-13 手術映像録画配信装置の液晶パネルで録画映像が確認できること
 - 2-4-14 設置性を考慮し、高さ 90mm 以下・本体の奥行き 300mm 未満で、収納スペースに無理なくおさまること
 - 2-4-15 医療安全規格に準拠した電源を使用していること
-
- 2-5 天井懸架用フルハイビジョンモニターは以下の要件を満たすこと
 - 2-5-1 画面サイズは、対角 26 型で薬品飛散等による画面の保護機能を有していること
 - 2-5-2 表示画素数は 1920×1080 ドット以上であること
 - 2-5-3 コントラスト比は 1400:1 以上であること
 - 2-5-4 BNC (3G/HD-SDI) × 1、BNC (コンポジット) × 1、BNC (RGB C-Sync またはコンポーネント) × 1 セット、Sビデオ × 1、DVI-D × 1 (HDCP 対応)、D-Sub 15 ピン (ミニ) × 1 の入力端子を持ち、各信号が表示できること
 - 2-5-5 BNC (3G/HD-SDI) × 1、BNC (コンポジット) × 1、DVI-D × 1 の出力端子を持つこと
 - 2-5-6 500cd/m²以上の輝度を有し、IPS パネルを採用していること
 - 2-5-7 2 種類の入力映像を 2 画面表示ができ、各々が正像・逆像/上下・左右の反転/表示ができること
 - 2-5-8 通気孔レス防滴構造であること
 - 2-5-9 本体の重量が 8kg 以下であること
-
- 2-6 天井懸架用 3D モニターは以下の要件を満たすこと
 - 2-6-1 31 インチ以上の液晶ディスプレイであり、円偏光方式による 3D 表示にも対応していること
 - 2-6-2 表示画素数は 1920x1200 ドット以上であること
 - 2-6-3 2D 視野角 (代表値) が上 89° / 下 89° / 左 89° / 右 89°、3D 視野角 (代表値) が 50° 以上であること
 - 2-6-4 映像入力端子はコンポジット、YC、RGB/コンポーネント、HD15、DVI を有し、かつオプションボードを有し 3G/HD-SDI も入力可能であること
 - 2-6-5 制御用端子を有し、外部コントロールが可能であること
 - 2-6-6 応札後から納入までの間に代替新製品・機種や追加仕様がある場合は、病院と協議の上、納入検討を行うこと
-
- 2-7 天井懸架用 4K モニターは以下の要件を満たすこと
 - 2-7-1 4K 内視鏡を設置する部屋に天井懸架するモニターは 31 インチ以上の液晶ディスプレイであること
 - 2-7-2 表示画素数は 4096x2160 ドット以上であること
 - 2-7-3 2D 視野角 (代表値) : 上 89 度/下 89 度/左 89 度/右 89 度であること
 - 2-7-4 表示色は 1070 百万色以上であること
 - 2-7-5 映像入力端子は HDMI、DVI を有し、HD-SDI 端子は 4 つ以上を有し、4K 解像度の映像に対応可能であること
 - 2-7-6 制御用端子を有し、外部コントロールが可能であること
 - 2-7-7 応札後から納入までの間に代替新製品・機種や追加仕様がある場合は、病院と協議の上、納入検討を行うこと
-
- 2-8 手術室壁面モニターは以下の要件を満たすこと
 - 2-8-1 画面サイズは対角 55 型以上であること

- 2-8-2 表示画素数は1920×1080ドット以上であること
- 2-8-3 350cd/m²以上の輝度を有し、IPSパネルを採用していること
- 2-8-4 HDMI、DVI、RGBコンポジットビデオの各信号が表示できること
- 2-8-5 手術室壁面に設置するための壁掛け金具を準備すること
また、壁掛け金具はモニターを前面に引き出すことができる構造であること

- 2-9 術場カメラは以下の要件を満たすこと
 - 2-9-1 ドーム型のケースに収納され、手術部内の天井等に設置のこと
 - 2-9-2 撮像素子は1/2.9型以上のCMOSセンサーを有すること
 - 2-9-3 最低被写体照度はカメラ0.3lx以下であること
 - 2-9-4 レンズの焦点距離はf=2.8mm以上であること
 - 2-9-5 画像圧縮方式はH.264、JPEGに対応していること
 - 2-9-6 PoEによる電源供給に対応していること
 - 2-9-7 逆光補正機能を有すること
 - 2-9-8 各手術室の指定の場所に病院が、LANコンセントを用意するので、PoEHUBを接続し、当該PoEHUBから画像配信装置及び術場カメラにLANケーブルで接続すること

- 2-10 術野映像記録サーバーは以下の要件を満たすこと。
 - 2-10-1 各手術室に設置されたエンコーダーより配信される「術野系映像HD専用端末配信用(フルHD画質)」と「長期間保存・低画質配信用(スタンダード画質)」の術野映像データの蓄積とライブ配信及び、記録画像の配信を行うこと
 - 2-10-2 術野映像サーバーは、実容量として、次項に指定する期間のデータ(計106.4TB)を保存できる実容量以上のハードディスクを本体又は外付けエンクロージャ等に搭載しRAID5+1又はRIAD6構成によりデータを失わない構成とすること。
 - 2-10-3 術野映像データの蓄積時間は、1日1室8時間、1日34CH、合計272時間と試算する1ヶ月20日稼働想定にて、1ヶ月あたり5,440時間の記録を想定し下記条件を満たすこと
 - ・術野系映像HD映像(フルHD画質)
6Mbps フルハイビジョン画質 約16,320時間記録(約3ヶ月)44.8TB
 - ・術野系映像SD映像(スタンダード画質)
2Mbps 長期保存用スタンダード画質 約65,280時間記録(約12ヶ月)61.6TB
 蓄積容量を超えた術野映像データは古いデータより自動削除を行う機能を有すること
 - 2-10-4 バックアップ・長期保存を目的に、当院が別途用意するネットワークHDDに自動バックアップを行うデータ管理機能を有していることまた診療科別に保存先を変更できる自動振り分け機能を有すること
 - 2-10-5 当院の電子カルテシステムと連携し、患者情報・執刀医・診療科の情報を自動取得し、映像コントロールシステムに情報を伝達すること
 - 2-10-6 録画中の手術映像の時間を戻して再生できる「追いかけて再生機能」を有すること
 - 2-10-7 ログイン・パスワードの入力により、利用者の権限を設定できること登録された診療科のみデータの参照が行える、利用者制限機能を有すること

- 2-11 術場カメラサーバーは以下の要件を満たすこと
 - 2-11-1 各室に設置された監視カメラの監視系カメラ映像の記録・配信が行えること
 - 2-11-2 1~2Mbps設定にて術場カメラ映像を24時間の記録を想定し、10日間以上の記録が可能であること
 - 2-11-3 手術室の追加または他の部屋への追加を考慮し、ハードディスクの容量を増設する事で記録時間の追加が可能であること。また術場カメラを最大32台まで追加接続が可能であること
 - 2-11-4 術野サーバーのシステムと連動し、術場カメラ映像と術野カメラ映像を同時にマルチ表示できる仕組みであること
 - 2-11-5 リアルタイム画像配信として、各手術室の画像スイッチやエンコーダーを経由せず、ネットワークに接続を可と

するが、専用端末の総数と電子カルテ端末での参照数に同時配信できる能力を持つこと、出来ない場合、デジタルスイッチャーやエンコーダを経由して、画像管理サーバに保存しながらリアルタイムから2〜3秒程度以内の遅れで、サーバから専用端末や電子カルテ端末に画像配信可能なこと

- 2-12 編集PC 端末は以下の要件を満たすこと。
- 2-12-1 術野映像サーバに録画済の手術映像データの取り出しを目的とし、専用アプリケーションにて簡易な操作で必要なデータを編集・取り出しが行えること
- 2-12-2 術野映像サーバに録画済の手術映像データに加え、保存された手術映像データの視聴・編集が可能であること
- 2-12-3 専用アプリケーション起動時に、ログインID・パスワードにて利用者の情報をサーバに送信する機能を有すること同一の専用アプリケーションより、患者情報・執刀医・診療科・日時・時間・部屋番号から検索が行え、必要な部分の動画を取り出す「編集機能」・「静止画印刷機能」・「学会用のデータ変換機能」を有すること
- 2-12-4 専用アプリケーションは視聴権限の設定により、異なる診療科の映像の視聴を禁止する「視聴制限機能」を有すること
- 2-12-5 専用アプリケーションは操作権限の設定により、「記録済手術映像の視聴のみ」「担当診療科の記録済手術映像の視聴と取り出し編集が可能」「全ての記録済手術映像の視聴と取り出し編集が可能」といった利用できる機能の制限が可能であること但しサーバに保存されたデータの削除・変更は管理者のみが操作可能であること
- 2-12-6 動画の取り出しは、学会用のWMV・MAC用のMP4データの書き出しが可能であること
- 2-12-7 術野映像データの一部を無変換で画質劣化無く、高速(※下記速度を参照)に取り出す「無変換切り出し機能」を有すること
- 2-12-8 術野映像データの一覧は、専用のアプリケーションで検索を行いサムネイル又はリスト表示が行えることサムネイルの表示サイズは変更が可能であること
- 2-12-9 シークバーをマウス操作にて左右に操作することで、指定の時間に瞬時にジャンプし、倍速再生や巻戻し再生が簡単に行えること
- 2-12-10 動画から任意の静止画を抽出し、同一のアプリケーション上から簡単な操作で患者説明用の印刷用出力(JPG)が可能であること
- 2-12-11 CPUは、Core i5以上の性能・機能を有すると判断されること
- 2-12-12 OSは、Windows8.1 Pro相当以上の機能を有すること
- 2-12-13 主メモリ容量は、8GB以上を有すること
- 2-12-14 ディスプレイは、対角23インチ以上で、出力画素数は1920×1080ドット以上であること
- 2-12-15 内蔵ハードディスクは、実効容量500GB以上を有すること
- 2-13 マルチ視聴端末は以下の要件を満たすこと
- 2-13-1 OSは、Windows8.1 Pro相当以上の機能を有すること
- 2-13-2 プロセッサはインテルCore i5以上であること
- 2-13-3 メモリは4GB以上であること
- 2-13-4 ディスプレイへの出力画素数は1920×1080ドット以上であること
- 2-13-5 USBインターフェースを4ポート以上有すること
- 2-13-6 表示画像は単画面表示及び分割表示(4・6・9・12・16分割)の切り替えが可能なこと
- 2-13-7 画像表示パターンをプリセットする機能を有し、あらかじめ設定した画面を分割表示することができること
- 2-13-8 画像表示パターンをプリセットする機能を有し、あらかじめ設定した画面を分割表示することができること
- 2-13-9 マルチ表示時中の1画面をダブルクリック等で選択することにより1画面表示が可能であること
- 2-13-10 マルチ画像は、最大通信帯域を24Mbps/1台とする。
- 2-13-11 シングル受信(1部屋の映像表示)は最大6Mbpsまで可とする。

- 2-14 院内電子カルテ端末用ライブ映像及び記録映像の視聴アプリケーションは以下の機能を有すること
 - 2-14-1 当院既設の電子カルテネットワークを利用し、術野映像サーバーより配信される術野ライブ映像を当院の電子カルテ端末にて視聴可能であること
 - 2-14-2 当院既設の電子カルテから患者 ID 連携を行い過去の録画データの呼び出しが可能であることと電子カルテ側の負荷を考え、低画質の映像を表示できること
 - 2-14-3 同時視聴数はネットワークの負荷を考慮し同時接続最大 30 台とする同時接続ライセンス方式を採用すること
また、全端末へのアプリケーションインストールも可能であること
 - 2-14-4 ログイン・利用者管理機能により、担当診療科以外の映像視聴を制限する機能を有すること
 - 2-14-5 配信数・制限内容は当院の電算室との打合せを行い実施すること
 - 2-14-6 画像記録時に、電子カルテの手術情報から、手術の各種情報を取り込むこと
 - 2-14-7 インターフェースなどについては、富士通静岡支社と事前に協議をしておくこと
- 2-15 手術室 1~6 の仕様は下記の機能要件を満たすこと
 - 2-15-1 天吊りアームモニター、壁面大型ディスプレイへの入力できる端子ボックスを壁面またはシーリングペンダントに備えること
 - 2-15-2 手術室 1~5 の映像コントロールシステムは、手術室 18~22 の壁面 AV 機器収納ユニットを移設し、設置すること
 - 2-15-3 手術室 6 の映像コントロールシステムは、壁面 AV 機器収納ユニットを用意し設置すること
 - 2-15-4 記録装置は移動式のカートに乗せて各部屋共用で運用することができること
移動式の記録装置は 2 式用意すること
 - 2-15-5 映像記録のタッチパネルはバーコードリーダーの入力で患者 ID を検索し、患者情報を表示できること
 - 2-15-6 映像入力 4、出力 4 以上のコントローラーを用意すること
- 2-16 手術室 7 の仕様は下記の機能要件を満たすこと
 - 2-16-1 天吊りアームモニター、壁面大型ディスプレイへの入力できる端子ボックスを壁面またはシーリングペンダントに備えること
 - 2-16-2 映像コントロールシステムは、壁面 AV 機器収納ユニットを用意し設置すること
 - 2-16-3 映像入力 16、出力 16 以上のコントローラーを用意すること
- 2-17 手術室 8~17 の仕様は下記の機能要件を満たすこと
 - 2-17-1 天吊りアームモニター、壁面大型ディスプレイへの入力できる端子ボックスを壁面またはシーリングペンダントに備えること
 - 2-17-2 手術室 9 以外の映像コントロールシステムは当院が用意する壁面 AV ラックに設置すること
 - 2-17-3 手術室 9 の映像コントロールシステムは壁面 AV 機器収納ユニットを用意し設置すること
 - 2-17-4 映像入力 8、出力 8 以上のコントローラーを用意すること
- 2-18 手術室 18~22 の仕様は下記の機能要件を満たすこと
 - 2-18-1 内視鏡専用手術統合システムの医療機器システムコントローラー 7 式、操作用タッチパネル 12 台で構成されること
うち、医療機器システムコントローラー 2 式および操作用タッチパネル 2 台は既存の内視鏡トrolleyに設置すること
 - 2-18-2 既存の HD モニタ 2 枚を手術室 18、19 の天吊アーム（対象アームは当院と協議）に 1 枚ずつ移設し取り付けること
 - 2-18-3 1 台で 8 種類以上の機器を接続することができること。接続機器がシステムコントローラーの接続可能数より多い場合は接続機器の拡張を行うための拡張ユニットで増設可能であること
 - 2-18-4 システムコントローラーに接続された周辺機器の操作を、操作用タッチパネルにより集中して行う機能を

- 有すること
- 2-18-5 ビデオシステムセンター、高輝度光源装置、超音波凝固切開装置、高周波焼灼装置、无影灯（新病院で納品予定の機種：制御できない場合は将来対応も可）を接続し、各機器を操作用タッチパネルで制御できること
- 2-18-6 内視鏡のリモートスイッチを用いて滅菌エリアから接続機器の操作を行うことができること
- 2-18-7 手術室内映像コントローラーとの連携を行うことができ、医療機器の操作に連動した非医療機器の操作が可能であること
- 2-18-8 操作用タッチパネルまたは機器情報表示パネルの画面上に警告メッセージ、エラーメッセージを日本語で表示することが可能であること。
- 2-18-9 接続機器の設定値を日本語の音声でフィードバックする機能を有すること
- 2-18-10 手技名またはドクター名ごとに接続機器の設定を記憶（自動初期設定）させることにより、ワンタッチで機器の設定が可能であること。
- 2-18-11 自動初期設定は 90 通り以上設定することが可能であること。
- 2-18-12 登録されている設定データを USB メモリー経由で他のシステムコントローラーにコピーすることができること
- 2-18-13 手術の進行における複数の機器操作をシーン設定としてまとめて記憶させることができ、ワンタッチで複数機器の設定変更を行うことができること
- 2-18-14 ひとつの初期設定のなかに、12 シーン以上の設定を行うことができること
- 2-18-15 シーン毎に静止画を登録することができること。静止画は操作用タッチパネルに拡大表示することが可能であること
- 2-18-16 操作用タッチパネルおよび機器情報表示パネルの画面上に表示する内容のカスタマイズが可能であること
- 2-18-17 USB フラッシュメモリに記録された静止画を機器情報表示パネル画面上に再生することが可能であること
- 2-18-18 接続機器と通信するために、必要な通信変換機を有すること
- 2-18-19 応札後から納入までの間に代替新製品・機種や追加仕様がある場合は、病院と協議の上、納入検討を行うこと
- 2-18-20 操作用タッチパネルは 15 インチ以上の液晶パネルでタッチパネル方式であること
- 2-18-21 操作用タッチパネルはシステムコントローラーに接続している機器の操作が可能であること
- 2-18-22 操作用タッチパネルは接続している機器の初期設定の入力・登録が可能であること
- 2-18-23 操作用タッチパネルは登録された初期設定値を選択、実行を行うことができること
- 2-18-24 操作用タッチパネルは日本語表記であること

2-19 サーバの設置に関する事項

- 2-19-1 サーバは、病院のサーバ室の指定した 19 インチラック（幅 600mm）に配置すること
- 2-19-2 病院の用意するサーバ用スイッチに接続すること、VLAN については、病院情報企画室と協議すること
- 2-19-3 10 分程度は稼動可能な容量の UPS を用意すること
- 2-19-4 電源は病院側で用意する 100V20A もしくは、100V30A のサーバ用電源を使用すること
- 2-19-5 導入するサーバの数量等で、提供するラックが異なるため、提供するラックにコンソールがない場合、コンソール及び KVM スイッチを用意すること。機器導入前に情報企画室に確認すること
- 2-19-6 サーバの設置に必要な金具、ケーブル類、消耗品等を費用に含むこと

3. その他

- 3-1 機能以外の条件に関して以下の要件を満たすこと
 - 3-1-1 検収完了日から翌年度末までは無償保証期間とすること
 - 3-1-2 修理、メンテナンスは国内での対応が可能であること
 - 3-1-3 リモートメンテナンスは当院で用意するリモートルータを使用し、遠隔からサーバ、クライアント端末のメンテナンスがで

きること

- 3-1-4 リモートメンテナンスは当院の規定を守ること
- 3-1-5 リモートメンテナンスは、請負業者の運用規定が定められていること
- 3-1-6 納入する機器の設置に関しては、稼働させるのに必要な搬入、据付、配線、調整を行うこと
- 3-1-7 手術室内の機器は、当院の要求する所定の位置に無理なく設置できること
- 3-1-8 本調達機器の設置に関し、搬入、据付、配線、配管、調整、電子カルテ及び手術管理システム等との接続、試運転等に関する一切の費用は本調達に含むこととし、作業の際は病院業務に支障をきたさないよう本院の職員と協議のうえ、その指示によること
- 3-1-9 天井内配管は、別紙2『天井内空配管図』に従い、敷設すること
- 3-1-10 日本語の操作マニュアルを提供すること
- 3-1-11 装置の管理者、運用者に技術指導を行うこと
- 3-1-12 無償保障期間内は操作説明等の対応を随時行うこと。

4 搬入場所及び保守体制

(1) 搬入場所

静岡県立総合病院 先端医学棟手術室

(2) 保守体制

本院から要請のあった場合は、迅速な保守サービスができる体制であること。

納入後翌年度末までは、機器が正常に稼働するために必要な保守・点検（定期交換部品代含む）を無償ですること。

機器の部品は準備し、適正な価格で供給すること。